

ラトビア月報

【2023 年 7 月】



2023 年（令和 5 年）8 月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ リンケービッチ外相が大統領に就任 (P. 1)

【経済】

- ・ 2023 年上半期のリガ国際空港の利用客数は前年同期比約 4 割増 (P. 2)

【外交】

- ・ カリンシュ首相の NATO ビリニュス首脳会合出席 (P. 5)

【その他】

- ・ 「歌と踊りの祭典」開催 (P. 7)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。
月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

【今月の注目記事】

◆リンケービッチ外相が大統領に就任

7 月 8 日、リンケービッチ外相は国会で開催された大統領就任式典において宣誓を行い、1991 年の独立回復以降、7 人目となる大統領に就任した。現在、大統領の任期は 4 年で、連続 3 選は禁止されている。

◆6 月の政党支持率

6 月 30 日、ラトビアテレビは、民間調査会社「SKDS」が実施した支持政党に関する 6 月の世論調査結果を公表した。調査の結果によると、与党「新・統一」は 0.7%増の 11.5%で第 1 位、野党「ラトビア・ファースト」は 1.7%増の 10.0%で第 2 位、野党「進歩党」は同月最大の増加幅で 2.5%増加して第 3 位となった。

政党名（%、括弧内は前回の国会選挙の得票率）	支持率 （%、括弧内は 2023 年 5 月の値）
「新・統一」（18.97）	11.5（10.8）
「緑と農民連合」（12.44）	7.5（8.9）
「統一リスト」（11.01）	5.8（5.8）
「ナショナル・アライアンス」（9.29）	6.6（6.4）
「安定のために」（6.80）	5.0（5.4）
「ラトビア・ファースト」（6.24）	10.0（8.3）
「進歩党」（6.16）	9.0（6.5）
「発展・For！」（4.97）	—（—）
「調和」（4.81）	4.2（3.9）
「プラットフォーム 21」（※3）（3.67）	0.5（0.9）
「ラトビアのロシア連合」（3.63）	—（—）
「主権」（3.24）	1.4（1.2）
「保守党」（3.09）	1.0（1.3）
「Movement For」（※1）	0.9（1.1）
「ラトビアの発展のために」（※2）	1.3（0.7）
「基礎 LV」（※4）	0.7（0.8）

（政党は上から 2022 年 10 月に実施された第 14 回国会選挙で獲得票数が多かった順）

◆254 名の志願兵が国防関連機関で奉仕を開始

7 月 1 日、254 名（4 名は海外在住）のラトビア国籍者の志願兵が国防関連機関で奉仕を開始した。これらの志願兵はアーダジ基地の陸軍（機械化歩兵の旅団）に所属する。合計で 488 名が志願したが、13 名は自らの意思により職業軍人になることを希望し、その他にも健康状態や年齢等により受け入れられなかった志願者もいた。

今回の志願兵は国会が 2023 年 4 月 5 日に採択した徴兵制度の再導入に関する法律に基づく最初の召集（但し、今回は志願兵のみ）となった。

◆スタキス・リガ市長の辞任表明

7 月 3 日、スタキス・リガ市長が辞任を表明した。辞任の理由として同氏はリガ市議会運輸局の違反行為の可能性に関する連立与党内での意見の相違を挙げ、同伴に関係する政治家は運輸局の捜索を行おうとせず、事実を隠蔽しようとしていると連立与党のメンバーを批判し、「もはやリガ市議会での決定に責任を持てない」と述べた。

5 日、リガ市議会は臨時議会を開催し、スタキス・リガ市長の辞任を承認し、3 名の副市長はキルスィス・リガ副市長を市長代行にすることで合意した。（環境・地域開発省によると、3 名の副市長は議会の承認なしに市長代行を決定できる権限を有している）

◆7 月 8 日よりカリンシュ首相が外相を代行

7 月 7 日、8 日にリンケービッチ外相が大統領に就任することを受け、カリンシュ首相はリンケービッチ外相の辞任を受理した。7 月 8 日より、カリンシュ首相が外相を代行する。リンケービッチ外相は 2011 年 10 月 25 日より外相を務めていたが、2023 年 5 月 31 日に国会が同氏を大統領に選出した。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆2023 年上半期のリガ国際空港の利用者数は前年同期比約 4 割増

7 月 5 日、リガ国際空港によると、2023 年上半期のリガ国際空港の利用者数は前年同期比約 4 割増の約 300 万人となった。2023 年上半期にリガ国際空港をトランジットとして利用した乗客は 21%（2022 年上半期は 17%）となり、2023 年上半期の平均搭乗率は 72%（2022 年上半期は 64%）となった。2023 年上半期のリガ国際空港の利用者数の 58%はエアバルティック社を利用し、16%はライアンエア社を利用した。

◆ラトビアは「IMD 世界競争力指数」で 64 か国中第 51 位

7 月 6 日、スイスの国際経営開発研究所 (IMD) が発表した「IMD 世界競争力年鑑 2023」によると、ラトビアは 64 か国中第 51 位（第 35 位）となった。エストニアは第 26 位（第

22 位)、リトアニアは第 32 位 (第 29 位) であった。(括弧内は 2022 年の順位) ラトビアの課題として、高インフレによる賃金上昇圧力、近隣諸国の経済状況悪化による景気停滞リスク及び企業のデジタル化能力等が挙げられている。第 1 位はデンマーク、第 2 位はアイルランド、第 3 位はスイスであり、第 64 位はベネズエラ、第 63 位はアルゼンチン、第 62 位はモンゴルであった。

◆2023 年上半期のエアバルティック社の利用者数は前年同期比 51.7%増

7 月 7 日、エアバルティック社によると、2023 年上半期の同社の利用者数は前年同期比 51.7%増の約 191 万人となり、同期の便数は前年同期比 19.9%増の 20,290 便だった。

◆2023 年 6 月の消費者物価上昇率は 7.9%

7 月 11 日、中央統計局は、2023 年 6 月の消費者物価上昇率が前年同月比 7.9%、前月比ではマイナス 1.4%となったと発表した。5 月と同様、6 月の物価上昇は、主に食品・ノンアルコール飲料及び住宅関連のエネルギー価格の上昇の影響を受けた。

◆2023 年 6 月の失業率は 5.5%

7 月 12 日、国家雇用庁は 2023 年 6 月末の失業率は前月末から変化なく 5.5%だったと発表した。

◆ラトビアで開発されたドローンが米国のウクライナ支援パッケージに

7 月 18 日、アメリカの雑誌「Forbes」によると、米国が 7 月に発表したウクライナへの軍事支援パッケージの中にラトビアの「Edge Autonomy Riga」社が開発したドローン「Penguin」も含まれる。同ドローンは「Edge Autonomy Riga」社の親会社である「Edge Autonomy」社のカリフォルニアにある工場で生産されていて、トルコの「Bayraktar TB-2」に似た軍事的利用も可能な民間用ドローンである。

◆2023 年上半期の発電量は前年同期比 43.6%増

7 月 20 日、AST 社 (ラトビア全土で電力輸送を管理するシステム・オペレーター) によると、2023 年上半期のラトビアの発電量は前年同期比 43.6%増の 3,987GWh (約 8 割が再生可能エネルギー) となった。

2023 年上半期のダウガワ川の水力発電所による発電量は前年同期比 42.3%増の 2,863GWh (72%)、天然ガスによる火力発電所の発電量は同 89.3%増の 705,895MWh (18%)、バイオマスによる火力発電所の発電量は同 15.6%減の 162,559MWh (4%)、バイオガスによる発電量は同 8.6%減の 106,861MWh (3%)、風力発電による発電量は同 69.6%増の 123,951MWh (3%)、太陽光発電による発電量は同 5.7 倍の 14,418MWh (0.4%) (括弧内の%は 2023 年上半期の発電量全体に占める割合)。

2023 年上半期の電力消費量は前年同期比 5.9%減の 3,416GWh となった。

◆LMT 社の 5G ネットワークはラトビア全土の 45%をカバー

7 月 26 日、LMT 社の 5G ネットワークはラトビア全土の 45%をカバーし、ラトビア人口の約 70%にサービスを提供できる状態にある。データ量で最も活動的なユーザーはアーダジ、ケカヴァ及びマールペ等のリガ近郊並びにアウグシュダウガヴァ、イェーカブピルス及びサルドウス等である。

◆2022 年のリガ・ユニバーサル・ターミナルの売上額は前年比 11.6%増

7 月 26 日、Firmas.lvによると、リガ・ユニバーサル・ターミナルの 2022 年の財政年度（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日）の売上額は前年度比 11.6%増の 1723 万ユーロ、利益は前年度比 11.8%増の 396 万ユーロになった。

同社の年次報告書によると、同社はリガ自由港での木材パルプ関連の貨物積替が拡大し、リガ自由港の港湾荷役会社の中で貨物積替量が最大であった。

◆「Conexus Baltic Grid」社はインチュカルンスに「Solar Park」を建設

7 月 27 日、天然ガスの貯蔵・運搬会社「Conexus Baltic Grid (CBG)」社はインチュカルンス天然ガス貯蔵施設に「Solar Park」を建設するため「Derex」社と契約を締結した。同プロジェクトは来年の春までに完成する予定で投資額は 980,000 ユーロ。16,000 m²のソーラーパネルを設置し、最大 1MW の電力で年間百万 kWh を発電することが可能となる予定。パリス CBG 社 CEO によると、この「Solar Park」により、年間 300 トンの二酸化炭素を削減することが可能となる。

◆2023 年第 2 四半期の GDP 成長率は前年同期比 0.9%減（暫定値）

7 月 28 日、中央統計局は、2023 年第 2 四半期の GDP 成長率（暫定値）は前年同期比では 0.9%減（原数値）、前期比では 0.6%減（季節調整値）であったと発表した。前年同期比では、製造業が 4.0%減、サービス業が 0.6%増であった。詳細データは 8 月 31 日に発表される予定。

◆格付機関 Fitch Ratings はラトビアの格付の見通しを「ポジティブ」に

7 月 29 日、格付機関 Fitch Ratings はラトビアの格付を「A-」に据え置き、外貨建て長期発行体デフォルト格付（IDR）の見通しを「安定的」から「ポジティブ」に変更した。同格付機関は見通しを変更した理由として、①ラトビア経済の強靱性、②ロシアのエネルギー依存からの脱却、③消費者物価上昇率の下落の見込み、④財政赤字及び政府債務残高の低さ等をあげている。同時に、地政学的状況悪化及びエネルギーショックに起因する消費者物価上昇による競争力低下がリスクとなる可能性も指摘している。同格付機関による主なラトビアの指標は以下の通り：

	2023 年	2024 年	2025 年
実質 GDP 成長率 (%)	1.4	約 3.0	約 3.0
消費者物価指数上昇率 (%)	9.4	2.3	2.9
一般政府財政赤字 (対 GDP %)	3.8	2.1	1.8
一般政府債務残高 (対 GDP %)	40 以下	-	-

S&P グローバルによるラトビアの格付は「A+」で見通しは「ネガティブ」。Moody's によるラトビアの格付けは「A3」で見通しは「安定的」。R&I によるラトビアの格付けは「A」で見通しは「安定的」。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆カリンシュ首相の NATO ビリニュス首脳会合出席

7 月 11 日から 12 日、カリンシュ首相は NATO ビリニュス首脳会合に出席した。同会合では同盟国の防衛力強化およびウクライナの NATO 加盟に向けた道筋に関する重要な決定が採択された他、新設された NATO・ウクライナ理事会が初めて開催された。カリンシュ首相は同理事会においてウクライナが将来的に NATO 加盟国となることを強調した。日本を含むインド太平洋地域の同志国との会合では、欧州とアジア地域の安全保障は密接に関連しているとの認識が確認された。カリンシュ首相は、「我々同志国は価値を共有している。ロシアはルールに基づく国際秩序を弱め、中国は国際秩序に挑戦している。同盟国およびパートナー国は安全保障を強化し、ウクライナを支援するために協力しなければならない」と述べた。同首相は、リトアニアおよびエストニアの首相とともに、日本の岸田総理とも会談した。

◆例外的なケースにおけるロシア市民からの査証申請の受付を再開

7 月 3 日、外務省は、特定のカテゴリーに該当するロシア市民からの査証申請の受付を再開した。外務省は安全保障状況の評価および隣国や地域のパートナーとの協議を経て、7 月 4 日から在外公館におけるロシア市民の査証申請の限定的な受付を再開する。期日以降は、ロシア市民で、ラトビア国民（無国籍者を含む）、EU 国民、欧州経済領域国民、およびスイス国民の家族並びに人道的配慮によって入国する者からの査証申請を受け付ける。在外公館におけるロシア市民からの査証申請の受付は、ロシアでの「軍事反乱」を受けて停止されていた。

◆トルドー加首相のラトビア訪問

7 月 10 日、カリンシュ首相はラトビアを訪問中のトルドー加首相とアーダジ基地にて会談した。会談ではムールニエツェ国防相とアナンド加国防相が、ラトビアにおける NATO 拡大前方展開 (eFP) を 2026 年までに旅団規模に拡大するためのロードマップを締結した。カリンシュ首相はカナダがその軍事的プレゼンスを 2 倍にするというコミットメントは NATO の東部側面を強化する歴史的な一歩であると強調した。

◆メローニ伊首相のラトビア訪問

7 月 10 日、カリンシュ首相はラトビアを訪問中のメローニ伊首相と会談し、NATO ビリニウス首脳会合、移民問題、EU 対外国境および EU の現在の課題について協議した。カリンシュ首相は、カナダとラトビアが同日に発表した NATO 拡大前方展開 (eFP) を 2026 年までに旅団規模に拡大するという計画について、イタリアが引き続き重要な役割を果たすと述べた。また移民問題について、ラトビアはベラルーシから、イタリアは北アフリカからの不法移民の流入に直面しており同様の問題を抱えていると述べた。

◆ミツォタキス・ギリシャ首相のラトビア訪問

7 月 10 日、カリンシュ首相はラトビア訪問中のミツォタキス・ギリシャ首相と会談し、NATO ビリニウス首脳会合、ウクライナ支援の継続、移民問題、EU 対外国境および EU の現在の課題について協議した。カリンシュ首相は、我々はウクライナへの継続的な支援、NATO における個別的・集団的防衛への投資の必要性とともに移民の移住は EU の安全な対外国境で予測可能かつ透明性のある、管理されたものでなければならないという見解で一致したと述べた。

◆カリンシュ首相の EU・ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) 首脳会合出席

7 月 17 日から 18 日、カリンシュ首相はブリュッセルを訪問し、EU・ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) 首脳会合に出席した。同首相は高い消費者物価上昇率及び食料供給リスク上昇等を含むウクライナ戦争が世界にもたらしたロシアの責任を強調し、特に、「黒海穀物イニシアチブ」からのロシアの離脱及び食品を武器として利用していることを非難した。この他、カリンシュ首相は両地域間の貿易・経済協力拡大等に関して協議し、ラトビアは EU・メルコスール間の FTA 協定締結に関心があると述べた。

◆チャベス・コスタリカ大統領のラトビア訪問

7 月 20 日、チャベス・コスタリカ大統領はラトビアを訪問し、リンケービッチ大統領と会談した。リンケービッチ大統領はコスタリカの揺るぎないウクライナ支援に感謝するとともに同志国であるコスタリカと二国間、多国間外交等において協力を強化することへの関心を示した。同日、チャベス大統領はスミルテーンズ国会議長とも会談を行った。同大

統領は 17 日から 18 日にかけてブリュッセルで開催された EU・ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）首脳会合に出席した後ラトビアを訪問していた。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆「歌と踊りの祭典」開催

6 月 30 日～7 月 9 日、「歌と踊りの祭典」が開催された。同祭典の期間中、約 20 箇所で 60 の行事が行われ、ラトビア国家文化センターによると史上 2 番目（最も多かったのはラトビア建国 100 周年の 2018 年の約 43,300 人）に多い 40,560 人が参加し、合計約 50 万人の観客が同祭典の行事を鑑賞した。今年は歌の祭典の 150 周年を迎えた。

同祭典には中曽根参議院議員、リンケービッチ大統領、スミルテーンズ国会議長、カリンシュ首相、ステファンチューク・ウクライナ国会議長、ヴィテク・ポーランド国会下院議長等も出席した。

◆アピニス円盤投げ選手は世界パラ陸上競技選手権大会で優勝

7 月 11 日、パリで開催された世界パラ陸上競技選手権大会でラトビアのアイガルス・アピニス選手が F52 クラスの男子円盤投げで 20.46 メートルを記録して優勝し金メダルを獲得した。銀メダルはポーランドのピョートル・コセヴィッチ選手が、銅メダルはブラジルのアンドレ・ロシャ選手がそれぞれ獲得した。

◆クルーミニャ槍投げ選手は世界パラ陸上競技選手権大会で優勝

7 月 13 日、パリで開催された世界パラ陸上競技選手権大会でラトビアのディアーナ・クルーミニャ選手が F55 クラスの女子槍投げで 25.81 メートルを記録して優勝し金メダルを獲得した。銀メダルはブラジルのライサ・ロシャ選手が、銅メダルはイランのハシェミエー・モタギアン選手がそれぞれ獲得した。

（了）

2023年7月の主な出来事

	【内政】	【外交】
7月	1日、志願兵、国防関連機関で奉仕開始 3日、スタキス・リガ市長、辞任 8日、リンケービッチ新大統領就任 8日、カリンシュ首相、外相代行	3日、ロシア市民からの査証申請受付、例外的なケースに限り再開 10日、トルドー加首相、ラトビア訪問 10日、メローニ伊首相、ラトビア訪問 10日、ミツオタキス・ギリシャ首相、ラトビア訪問 11日～12日、カリンシュ首相、NATOビリニウス首脳会合出席 17日、カリンシュ首相、EU・ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) 首脳会合出席 (於ブリュッセル) 20日、チャベス・コスタリカ大統領、ラトビア訪問

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
名目GDP	百万ユーロ	26,984	29,154	30,679	30,265	33,617	39,063	9,149	-	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	13,901	15,135	16,035	15,922	17,853	20,709	-	-	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※)	%	3.3	4.0	2.6	▲ 2.3	4.3	2.8	0.8	▲ 0.9(※1)	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	67	69	69	72	72	74	-	-	EU統計局

(※)前年同期比(原数値)、(※1)暫定値

財政収支, 政府債務残高

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 208	▲ 245	▲ 178	▲ 1,321	▲ 2,398	▲ 1,721	▲ 80	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 4.4	▲ 7.1	▲ 4.4	-	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	10,493	10,784	11,209	12,711	14,688	15,947	17,101	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	38.9	37.0	36.5	42.0	43.7	40.8	-	-	公式統計ポータル

失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
失業率	%	8.7	7.4	6.3	8.1	7.6	6.9	6.4	-	公式統計ポータル
消費者物価上昇率	%	2.9	2.5	2.8	0.2	3.3	17.3	19.7	11.7	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	926	1,004	1,076	1,143	1,277	1,373	1,462	-	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	676	742	793	841	939	1,006	1,071	-	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	380	430	430	430	500	500	620	620	公式統計ポータル

対内直接投資(FDI)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	14,744	15,337	16,053	16,810	21,228	22,590	23,269	-	中央銀行

貿易統計

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	11,647	12,773	12,966	13,305	16,452	21,387	5,080	-	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	14,177	15,793	15,914	15,159	19,519	26,490	5,814	-	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 2,530	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 3,067	▲ 5,103	▲ 734	-	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
日本への輸出	千ユーロ	50,526	53,343	56,637	50,099	76,889	84,296	13,859	-	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	22,282	25,668	27,999	21,738	24,490	26,795	6,829	-	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	28,244	27,675	28,638	28,361	52,399	57,501	7,030	-	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
ラトビアへの輸出	百万円	7,573	7,325	5,794	4,459	5,809	4,343	982	1,137	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	8,017	8,847	8,868	8,650	10,088	16,769	3,259	2,324	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 444	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,191	▲ 4,279	▲ 12,426	▲ 2,277	▲ 1,187	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
ラトビア→日本	人	2,487	2,551	2,701	393	197	631	525	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	24,576	29,534	20,416	2,358	396	1,229	509	-	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2023年7月末現在、1ユーロ=155円程度。

(2023年8月1日まで公表分のデータ)